



生きて（経済の発展） 生きる（福祉の増進） まちづくり

～低炭素社会の実現を目指して～

鹿追町長 吉 田 弘 志

北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

<農業> と <観光> と <教育> を 3 本柱に

<農 業>

- 基盤整備事業
- 酪農ヘルパー事業
- コントラクター事業
- TMRセンター（完全混合飼料）
- 人材育成（産業研修制度・O1農業塾）

など



＜農業＞と＜観光＞と＜教育＞を 3 本柱に

＜観 光＞

- 然別湖・然別峡
- ファームイン
- 道の駅しかおい・うりまく
- とかち鹿追ジオパーク
- 多彩なアウトドアメニュー

（カヌー・登山・エアトリップ、熱気球、犬ぞり、乗馬、キャンプ など）



北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

3

＜農業＞と＜観光＞と＜教育＞を 3 本柱に

＜教 育＞

- 文部科学省研究開発指定（連続5期15年）
- 教育のICT化（タブレット、実物投影機など）
- 幼小中高一貫教育（地球コミュニケーション、新地球学など）
- カナダ短期留学派遣事業（鹿追高校1年生全員・約2週間）
- 自然体験留学制度 など



北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

4

家畜ふん尿の有効活用とバイオガス

●鹿追町環境保全センター

電気・消化液の活用 チョウザメ飼育 マンゴー栽培 さつまいも貯蔵等
水素エネルギーの活用 など



●瓜幕バイオガスプラント

ハウス野菜栽培事業（計画中）

●美蔓地区個別プラント

肥培かんがい施設 10基



北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

5

水素サプライチェーン実証事業

【事業概要】

- 畜糞由来のバイオガスを原料に水素を製造
鹿追町・環境保全センター内に水素製造装置、水素ステーションを設置し、水素を製造、供給
- 水素の利用先は、FCV、FCフォーク、建物設置水素燃料電池
燃料電池には水素ガスボンベによる宅送で水素を供給
- 実証事業を通じて、農業地域、寒冷地特有の課題に対応した水素サプライチェーンの実証を行い
さらなる省エネ化、低コスト化に向けた課題を抽出



AW エアウォーター株式会社

鹿島
KAIJIMA CORPORATION

資源と人をつなぐ
日鉄住金P&E
NSPE

AIR PRODUCTS

北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

6

鹿追町の二酸化炭素排出量

鹿追町全体で **56,710 t／年**

※鹿追町地域新エネルギービジョンより

うち農業機械（トラクター1,200台）	6,472 t／年
乗用車（4,271台）	5,893 t／年
一般家庭電力（2,390世帯）	5,229 t／年
合計	17,594 t／年

鹿追町のバイオガス生産量

中鹿追バイオガスプラント	1,400,000 m ³ ／年
瓜幕バイオガスプラント	2,400,000 m ³ ／年
合計	3,800,000 m³／年

バイオガスを水素に変換すると
約**4,000,000 m³**の生産が可能

北海道水素地域づくりプラットフォーム（鹿追町）

7

低炭素社会の実現を目指して

●FCVの導入促進

公用車、一般家庭での導入促進

●燃料電池の普及促進

町営住宅への導入、災害避難所（公共施設）への設置

●FCトラクターの技術開発研究

基幹産業である農業のさらなる生産性向上、循環型農業の推進

●CO₂利用

バイオガスから水素製造時に発生する二酸化炭素を温室ハウスでの利用を推進する。

ご清聴ありがとうございました。

8